

①⑨ 円筒状曲り格子の近似解法

徳島大学工学部土木教室 青木 泰夫

(要旨) 円筒状曲り格子の内環部材を直線部材に置きかえることにより、近似解法を誘導し、更に計算例により、解法の簡易化について述べるものである。

②⑩ Vanet test について

広島大学工学部土木建築教室 網干 孝夫

(要旨) 1932年にA.Casa grande が粗度を乱された粘土の強度が自然地盤のそれと比してはるかに小さくなることを見出して以来所謂 *un disturbed sampling* ということが軟弱地盤の土質調査に不可欠のものとして知られる様になつてきた。然し最近では鋭敏比即不擾乱試料と擾乱試料の強度比が数倍を超える様な、*sensitive* 状態土が発見され、この様な場合如何に注意して、*undisturbed sampling* を行つてもかなりの強度低下は生

ぬがれないのでむしろ自然地盤のままで強度試験をする方法が重要視される様になつてきたのは当然である。

Vane test は *Sweden* に於て発達した自然地盤の剪断試験法であるが現在行はれている方法はかなり *rough* であり且種々の *factor* に対する解析検討がなされてない筈である。

筆者は先に *vane test* の一変形として振り剪断試験機を試作し、その成績を報告したが、*vane test* がその重要性を生じた由来からみて試験値の精密性と信頼性を得ることが必要であり、そのため更に各種の基礎的な検討を要すると考えて種々の実験を行つてきたのでこゝに総合報告する。

本研究は文部省科研助成金の援助を受けた。こゝに記して厚く感謝の意を表する。